

◇ ICT 活用のポイント ◇

生活科で行った「町たんけん」での気づきを、ジャムボードを使って全体で共有しながら確かめる活動を通して、地域の中に「みんなが使う場所」はどんなところがあるかをロイロノートでまとめる活動を行った。

まずは、ジャムボード内の地域の地図(写真①)に、各グループで自分たちが見たお店や公共施設などの写真を貼り付けていく活動を行った。(写真②) 子どもたちは、「ここが駅になるよね。」や「こっちの方は ぼくが(写真を)貼り付けるね。」とみんなで協力して、見に行ったところとその場所を想起しながら地図上に写真を貼り付けることができていた。(写真③)

【協働的な学び】

つぎに、各グループで完成させた地図を見せながら、それらの場所で気付いたことや不思議に思ったことなどを発表した。ここでは、ジャムボード内の「付箋」機能を使って、気付いたことを地図上に貼り付けさせてもよかったと思うが活動を行った際、文字の入力ができる子がまだ少なかったため口頭で発表をすることとした。

【全体での学び】

最後に、ジャムボードを使って全体で確認した気づきをもとに、たんけんで見たとところが「公共施設」「お店」「その他」のどれに当たるのかをロイロノートのシンキングツールである「Y字チャート」を用いて分類する活動を行った。(写真④) 子どもたちは、「どんな人たちがその施設を利用していたか」や「どんな人が働いていたか」をふり返えるとともに、他の児童がどのように考えているのかも参考にしながら、自分考えをまとめることができていた。

【個別の学び】

